



市議会議員
上田由美子
☎ 68-2106
Fax 68-2146



前市議会議員
砂田喜昭



前参議院議員
たけだ良介

消費税減税をいまずぐ

ありとあらゆるものが値上がりし、くらしに深刻な影響が出始めています。アベノミクスによる「異次元の金融緩和」から異常な「円安」がすすみ、輸入品が割高となった影響が大です。日本共産党は物価対策として、消費税を今すぐ5%に減税することを求めています。これはすべての物価引き下げになり、とりわけ低所得者にとって大助かりです。自公政権はこの異常な物価高騰のなかで年金削減、高齢者の医療費増を強行しています。あべこべではありませんか。

大企業の内部留保に課税し

中小企業支援で最低賃金1500円に

日本共産党は暮らしを守るために賃上げを軸とした経済対策を求めています。異次元の金融緩和・アベノミクスで大企業の内部留保は130兆円も増えました。大企業に減税しすぎたからです。日本共産党は大企業のこの内部留保に5年の時限課税(2%)をし、国民に10兆円を返してもらおうと提案しています。これで中小企業を支援して最低賃金を時給1500円にします。また、大企業が内部留保を従業員の「賃上げ」や「グリーン投資」にまわせば、その分を課税対象から控除します。

要配慮者福祉避難所設営訓練

障害者の不安な気持ちに より添う声かけが大切

富山県総合防災訓練が10月16日、クロスランドおやばで実施され、数多くの訓練が実施されました。上田由美子市議のレポートです。

私は、クロスランドセンターでの「要配慮者福祉避難所設営訓練」に参加しました。ここでは、被災地の様々な場所にいる人を福祉避難所に誘導する方法が講習されました。

視覚に障害がある方、聴覚に障害がある方、車いすを利用

憲法を守る小矢部の会がスタンディングアピール

憲法を守る小矢部の会が10月24日朝、石動駅前交差点でスタンディングアピールをしました。「マイナカードの強制に反対」を掲げ、上田由美子市議もマイクを持って訴えました。



国の交付金を受けて 小矢部市 1回限りの物価対策

一方、国の物価対策は電力・ガス・食料品などで影響を受ける一部分だけのもので、極めて不十分です。

市は10月21日の臨時議会で、国の交付金2億7、219万円を受けて電力・ガス・食料品の影響を受けるところへ給付金を交付することにしました。これらはいずれも1回限りです。もちろんないよりはましで、日本共産党の上田由美子市議は賛成し、全会一致で採択されました。

生活困窮者向けが1億941万2千円で、22年度住民税非課税世帯と1月以降の家計急変世帯に1世帯5万円を給付します。12月中旬支給開始予定で2千世帯を想定しています。

18歳以下の子どもがいる子育て世帯、2千2百世帯には1、602万2千円で、お米引換券(小矢部産・新米20kg 1枚7千円相当)を11月中旬に配布します。

民間保育施設や医療機関へも支援金を計579万6千円支給します。

電力高騰の影響を受ける市内商工業者(高圧または特別高圧の事業用電力契約に限る)に5、030万円の予算を組みました。水利施設を管理する土地改良区にも支援します。

新型コロナウイルス接種に8、070万円を計上し、オミクロン株対応ワクチンの接種を勧めます。

している方、知的障害のある方の誘導についての訓練です。

90度に曲がった道や坂道、段差のある道、狭い道を会場に作り、誘導する方が障害の特徴に合わせて、障害者本人の不安な気持ちを推しはかり、声をかけながら腕を組んでもらい慎重に歩きました。会場に掲げられていた言葉「聞いて私たちの思い」が大切なことだと学びました。

車いすでは、「下り坂なので、後ろ向きになって下りますね。」と伝え、了解をもらって自分の体重で車いすの重みを受け止めながらゆっくりと下ります。

小矢部市身体障害者協会の方々や、社会福祉協議会のみなさんが参加され、耳の不自由な方に緊急避難を呼びかける「防災サイン」の練習も行われました。

日本共産党の火爪弘子県議も参加しました。

女性の視点を取り入れた設営

授乳室、男女別更衣室や物干し場

その他に、「女性の視点を取り入れた避難所設営訓練」として、授乳室、男女別更衣室、男女別物干し場が設けられているのを見学しました。これからの避難所開設には大切な視点だと感じました。

